

プレスリリース

2013年10月29日
国境なき医師団 (MSF)

GAVIアライアンス会合：より多くの子どもたちにワクチンを届けるための政策変更を

GAVI アライアンス（ワクチン予防接種世界同盟）の中間評価会議がストックホルムで開催されるにあたり、国境なき医師団（MSF）は、世界で予防接種を受けられていない子どもの数（2012年に2,260万人）を減らすため、GAVIは複数の政策を緊急変更する必要があると指摘する。

GAVIは国際的な官民連携による組織であり、途上国における基本的な予防接種活動を支援することを目的に資金調達を行っている。日本は2011年以来、累計2,750万米ドルをGAVIに拠出しているドナー国のひとつだ。

MSF 必須医薬品キャンペーンのエグゼクティブ・ディレクター、マニカ・バラセガラム医師は、「途上国の子どもに新たなワクチンをもたらすというGAVIの使命を全面的に支持していますが、より多くの子どもを致命的な病気から守るため、GAVIはその活動の改善点をいくつか残していると考えています。人道援助団体はいまも、緊急事態対応の際に、GAVIのワクチン価格の適用を受けられていません。多くの国にとって、ワクチンは長期的に購入していくにはまだまだあまりにも高価格であり、また、GAVIの活動は年齢の高い子どもへの予防接種支援という意味では十分とはいえません」と訴えている。

MSFはGAVIが大きな効果を生み出すために必要な4つの政策変更を次のように考えている。

- **人道援助団体にGAVIの価格を適用する**：現在、GAVIはMSFのような人道援助提供者に世界共通の最低ワクチン価格を適用していない。それができれば予防接種の“セーフティーネット”からこぼれる危機にある人びとが予防接種を受けることができるにもかかわらずだ。MSFが、乳幼児死亡率の高かった南スーダンの難民キャンプにいる子どものために、官僚的な壁を乗り越えて肺炎球菌ワクチンを入手するまで、11ヵ月を要した。GAVIがNGOや人道援助団体を価格交渉対象者に入れていないために、難民が新ワクチンの恩恵を受けられない事態が生じている。GAVIはNGOにその価格適用を許可し、難民と危機に瀕した人びとへの利用促進に向けた政策策定に緊急に動くべきである。
- **ワクチン価格引き下げに向けた働きかけの強化**：子ども1人に完全に予防接種を受けさせる費用は、2001年に比べて27倍に跳ね上がっている（2001年の1.38米ドルから現在の38.8米ドルまで。接種の制約が最もない場合）。MSFの活動国を含む複数の国で、経済成長にともなって、後年GAVIの支援を受けられなくなった時にこれらの価格を賄えなくなるのではないかと懸念が高まっている。例えば、コンゴはGAVIの支援を2015年末から受けられなくなり、現在従来のワクチンに支払っている額の20倍の額を、新ワクチンに払わなければならない

なる。こうした高価格は、予防接種事業の存続を危うくし、各国政府に、自国の子どもの命を守る対策でも賄えるものと賄えないものを決めるという、難しい選択を強いる可能性がある。GAVI は今後、より効果的かつ高い透明性をもって多国籍製薬企業と交渉するとともに、新興生産者によるワクチンの市場参入加速を支援することで、これらの価格引き下げに一層の努力を傾けなければならない。

- **予防接種対象を 1 歳以上の子どもに拡大する**：世界保健機関（WHO）は生後 11 ヶ月超の子どもが推奨予防接種を受けていない場合、予防接種を推奨しているが、現在 GAVI が定期予防接種事業用に購入しているワクチンは 1 歳児が上限である。これは、生後 1 年を超えて一連の予防接種を終えることなく診療所に来た子どもは、ワクチンの恩恵を受けられないということの意味する。それは致命的な小児疾患から子どもを完全に守る機会損失を意味し、予防可能な病気の流行によって命が失われる事態も多く生じている。GAVI は各国への支援内容を改訂して WHO の推奨事項を完全に実施できるようにすべきである。
- **常時低温保存を要しないワクチン開発促進**：現在、ワクチンの大多数は、子どもたちに運ばれるまで摂氏 2-8 度に保たなければならない。これは気温がゆうに摂氏 40 度以上に上昇し、電力供給が不安定が存在していない地域で活動する MSF のような医療提供者と各国保健省にとって信じがたいほど困難なコールドチェーン（低温輸送システム）要件だ。一方、「MenAfriVac ワクチン」は最近取扱説明が改訂され、最長で 4 日間まで再校摂氏 40 度までの保存が可能となり、酷暑の遠隔地における物流要件が大幅に緩和された。他のワクチンについても更なる研究が期待されている。GAVI は、より使いやすいワクチン普及に向けた取り組みに奨励金を出すなど、動機づけに積極的な役割を果たさなければならない。

MSF 必須医薬品キャンペーンワクチン政策アドバイザー、ケイト・エルダーは、「過去 10 年間の GAVI の業績は称賛に値しますが、今後の前進のために何を改善すればよいか、批判的な目を向けることも重要だと考えます。私たちは市場・製品・価格を形作るために懸命に闘い、意欲的かつ包括的な GAVI が、世界における予防接種の目標達成を助け、最も弱い人びとにおける病気を予防するために不可欠な存在だと信じています」と述べている。

MSF は 2012 年に 70 万人弱にはしかの予防接種を実施し、50 万人弱に髄膜炎の予防接種を実施した。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平（たち・しゅんぺい）

TEL：03-5286-6141 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>